

(案)

第六次地域管理経営計画 第一次変更計画書

(渡島檜山森林計画区)

計画期間 $\left(\begin{array}{l} \text{自 令和2年4月 1日} \\ \text{至 令和7年3月31日} \end{array} \right)$

策定年月日：令和2年3月30日

第一次変更年月日：令和5年3月 日

北海道森林管理局

渡島檜山計画区の第六次地域管理経営計画の変更について

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成 11 年農林水産省訓令第 2 号）第 6 条第 9 項に基づき変更する。

- 1 狩場山・大平山周辺森林生態系保護地域の拡充により、機能類型を変更する。

本変更計画は、令和 5 年 4 月 1 日から適用する。

【変更項目及び頁】

- 1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

- (2) 機能類型に応じた管理経営に関する事項

機能類型区分ごとの考え方 (地管 7) 1

注 1 : () 書きは、渡島檜山森林計画区の第六次地域管理経営計画書の頁である。

2 : 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、文中の下線部が変更等の箇所である。

3 : 各表の数値の計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

【現行計画】

機能類型区分ごとの考え方

機能類型区分	面積 (ha)	機能類型の考え方	目標とする森林
山地災害防止タイプ	85,165 (33%)	略	略
土砂流出・崩壊防備エリア	84,890 (33%)		
気象害防備エリア	275 (0%)		
自然維持タイプ	49,452 (19%)		
森林空間利用タイプ	4,321 (2%)		
快適環境形成タイプ	該当なし		
水源涵養タイプ	118,612 (46%)		
該当外	25 (0%)		
国有林野面積計	257,575		

注1) ()書は構成比である。

注2)「該当外」は、森林経営の用に供されない森林原野

【変更計画】

機能類型区分ごとの考え方

機能類型区分	面積 (ha)	機能類型の考え方	目標とする森林
山地災害防止タイプ	<u>83,772</u> (33%)	略	略
土砂流出・崩壊防備エリア	<u>83,497</u> (32%)		
気象害防備エリア	275 (0%)		
自然維持タイプ	<u>52,592</u> (20%)		
森林空間利用タイプ	<u>4,003</u> (2%)		
快適環境形成タイプ	該当なし		
水源涵養タイプ	<u>117,183</u> (45%)		
該当外	25 (0%)		
国有林野面積計	257,575		

注1) ()書は構成比である。

注2)「該当外」は、森林経営の用に供されない森林原野